

**令和5年度
福島県地域創生総合支援事業
（サポート事業）
県南地方実績報告書**

福島県県南地方振興局

■ 一般枠 様式 1 - 1, 様式 1 - 2

- ① NEXT ステップふくしま！ひとり親婚活事業（特定非営利活動法人 NEXT しらかわ）〔白河市〕
- ② しらかわ地域産業人材確保事業（白河商工会議所）〔白河市〕
- ③ うまいもん！けんなん！（白河商工会議所青年部）〔白河市〕
- ④ らーめんスタンプラリー（公益財団法人白河観光物産協会）〔白河市〕
- ⑤ 自宅で学べる！ママのためのクリエイティブスクール in しらかわ（一般社団法人 SFM）〔白河市〕
- ⑥ だるまさんによるだるま市のための“運動会”（白河だるま事業協同組合）〔白河市〕
- ⑦ 町へす（町フェス）・村へす（村フェス）（矢吹町バンド連合会）〔矢吹町〕
- ⑧ 里山で出来る SDGs 発信事業（しらかわ里山ネット）〔白河市〕
- ⑨ RAKUEN de Marche（中島村から元気を発信する会）〔中島村〕
- ⑩ 白河フードフェス 2023（白河フードフェス実行委員会）〔白河市〕
- ⑪ 福島県南で「むすぶ」（むすぶ）〔白河市〕
- ⑫ 若者地元就職促進・マッチング創出事業（ふくしま県南地元企業説明会実行委員会）〔白河市〕
- ⑬ しらかわ地域文化継承事業（白河まつり振興会）〔白河市〕
- ⑭ スポーツの力で地域ブランディング（公益社団法人白河青年会議所企画室）〔白河市〕
- ⑮ リノベーション@本町キタウラ事業（しらかわ本町未来研究所）〔白河市〕
- ⑯ しらかわにぎわいプロジェクト（しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会）〔県南地方 9 市町村〕
- ⑰ 都市と農村との交流を再構築！～アフターコロナ大信いいものの体験事業～
（白河市大信地域交流促進協議会）〔白河市〕
- ⑱ SDGs フェア 2023（SDG s 推進委員会）〔西郷村〕
- ⑲ 川谷マルシェ（川谷マルシェ実行委員会）〔西郷村〕

- ⑳ にしごう祭り（にしごう祭り実行委員会）〔西郷村〕
- ㉑ 来らっし飲まっし白河・西郷（青空バル実行委員会）〔西郷村〕
- ㉒ ジャスト・ライド 新緑の久慈川沿いを走ろう！2023（一般社団法人ニフトコ）〔棚倉町〕
- ㉓ 不登校児童への社会性接点構築事業（東白川子どもの居場所）〔矢祭町〕
- ㉔ ふくしま和紙カフェ ～ワークショップがつなぐ文化と食～（旅の書会）〔鮫川村〕
- ㉕ ジュニアゴルフ育成による大信地域活性化事業(大信をゴルフで元気にする会)〔白河市〕
- ㉖ 農産物産館まるごと西郷館を核とした賑わい元気を創出する拠点づくり振興事業
(道の駅にしごう出荷者等準備推進委員会)〔西郷村〕
- ㉗ まちの事業者魅力発信事業(たなぐら商工業魅力発信実行委員会)〔棚倉町〕
- ㉘ 横浜 Heart 矢祭 ～つなぐ・つながる・つながろう～
(横浜 Heart 矢祭プロジェクト実行委員会)〔矢祭町〕
- ㉙ 矢祭町の「和ハーブ」の認知活動とブランド化による地域活性化活動（矢祭和ハーブ部会）〔矢祭町〕
- ㉚ 埴町観光協会オンライン魅力発信事業（一般社団法人埴町観光協会）〔埴町〕
- ㉛ 魅力発見！はなわ選べる体験型宿泊ツアー（埴町観光誘客活性化実行委員会）〔埴町〕
- ㉜ 「学習障害の子どもたちの野原君キャンプ」人にやさしい村づくり事業
(あぶくまエヌエスネット)〔鮫川村〕
- ㉝ 文学による人づくりまちづくり事業（中山義秀顕彰会）〔白河市〕
- ㉞ 子育て世代の働き方改革スタートアップ交流事業（特定非営利活動法人わくわく）〔西郷村〕

■市町村枠 様式 1 - 3

- ③⑤ インバウンド再スタート事業（ふくしま県南観光推進協議会）〔県南地方 9 市町村〕
- ③⑥ 持続可能な地域づくり推進事業（西郷村）〔西郷村〕
- ③⑦ 棚倉町魅力向上事業（棚倉町）〔棚倉町〕
- ③⑧ 自転車のある風景 Vol.2 -サイクリストと歩行者が共生する町はなわ-（塙町）〔塙町〕
- ③⑨ 定住自立圏 ご縁から移住へプロジェクト
（「ふれあいの場」創出事業実行委員会）〔県南地方 9 市町村〕
- ④⑩ みんなでつくる奥久慈街道ブランド魅力アップ・プロジェクト Vol.2
（東白川サイクリング推進会議）〔東白川郡 4 町村〕
- ④⑪ しらかわ産業活性化・復興支援事業（白河市）〔白河市〕
- ④⑫ 美しい村づくりステージアップ事業（鮫川村）〔鮫川村〕
- ④⑬ にしごう健幸づくり事業（西郷村）〔西郷村〕
- ④⑭ お年寄り健康・生きがいつくり推進事業（矢吹町）〔矢吹町〕

■過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業） 様式 1 - 4

- ④⑮ 東館駅前活性化及び交流人口増加推進事業（特定非営利法人まち・ひと・みらい）〔矢祭町〕
- ④⑯ もっとより（持ち寄り）ば～ばのパラダイス and マルシェ～地域・世代を超えた交流の場づくり～
（農村女性高齢者生きがいつくり支援の会）〔鮫川村〕

(1)NEXT ステップふくしま！ひとり親婚活事業

一般枠

新規

【実施団体名】 特定非営利活動法人 NEXT しらかわ（白河市）

事業の目的

主に県南地域のひとり親の母親を対象に、専門家がプロデュースするメタバースとリアルを融合した婚活セミナー事業を実施する。

事業の内容

事業内容：

県南地域のひとり親世帯の母親を対象に、デジタル化によって様々な制約を無くしたメタバース空間を創造し、その中でセミナーや交流会を実施。
 ① メタバース婚活セミナー 6回 述べ52名
 ② 対面セミナー 3回 述べ48名

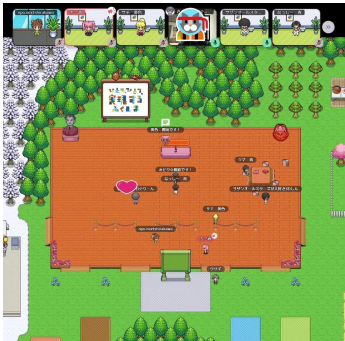
総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	2,253
補助金	-	-	1,486

<セミナー>



<メタバース空間>



事業の成果・効果

- 成婚者1名、交際者2名の計3名となり、交際数が目標（10組）に達しなかったが、成婚者という期待を超える結果となった。
- 地域の飲食店でセミナーを実施したことにより、これまで敷居が高く入れなかったお店だったが、セミナー実施後にリピーターとなった参加者がいた。会津や福島市からの参加者もあり、地域間の交流も生まれた。

今後の展開等

- メタバースセミナー→リアルセミナー→男性が参加する他の婚活事業（白河良縁プロジェクトなど）へのステップアップを図る。

(2)しらかわ地域産業人材確保事業

一般枠

新規

【実施団体名】 白河商工会議所（白河市）

事業の目的

当地域の産業人材確保という課題解決を図るために、「県外進学者の地元就職につながる取り組み」と「企業のイノベーション創出・実現につながる取り組み」の2本柱の事業を実施する。

事業の内容

事業内容：

- しらかわ地域県外進学者等応援事業
LINEを活用した市外在住の進学者へ情報発信・意識調査、
地元企業への進学者（大学・専門学校等）求人実態調査
- しらかわ地域中小企業イノベーション創出事業
福島イノベーション・コースト構想に関心があるしらかわ地域企業を対象とした浜通り視察研修

総事業費：

（千円）	R3	R4	R5
事業費 （補助対象）	-	-	2,790
補助金	-	-	1,859

＜ポータルサイト＞



＜浜通り視察研修＞



事業の成果・効果

- 県外在住学生とのつながりを構築（LINE登録者866名）するとともに、地元企業への実態調査などを行い、今後の施策を検討するうえで、重要な基礎資料とすることができた。
- 浜通り視察研修は参加者が低調（11名）であったが、参加者に対し、有意義な情報を提供することができた。

今後の展開等

- 学生・保護者との接点・つながりづくりの強化や企業とのマッチング支援の実行。
- 企業のイノベーション創出・実現を目的にマッチング可能性調査・関連事業参画の実現を図る。

(3)うまいもん！けんなん！

一般枠

新規

【実施団体名】 白河商工会議所青年部(白河市)

事業の目的

県南地域の飲食のレベルの高さを改めて認識し、再び外食文化が盛んになるイベントを行うことで、地域住民の活気を取り戻し、地域交流を再活性させる。

事業の内容

事業内容：

- 「しらかわ魂 2023～Shirakawa Youthful Heart～」
飲食販売、子供たちによる企画発表を行った。
- 「しらかわ屋台村 with みんなのヒカリ 2023」
他団体主催の白河駅前イルミネーションイベントと同時開催で飲食販売を行った。

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	7,172
補助金	-	-	4,731

<しらかわ魂 2023>



<しらかわ屋台村>



事業の成果・効果

- しらかわ魂 2023 では地域の活性化を促し、多くの方に県南地域の食文化をアピールすることができ、地元住民と協力したステージ演出はたくさんの方に非日常を与え、地域を大いに盛り上げることができた
- しらかわ屋台村では夏での経験を活かし、子ども達と創り上げるイルミネーションを主軸に県南の美味しい食材を使った料理で県南地域の食材をアピールすることに成功した。

今後の展開等

- 県南地域に賑わいを創出し、次代を担う子供たちがこの地域に愛着を持つきっかけを創ってゆきたい。その為に多くの会員を巻き込むサポート事業の為に連絡会議をおこなっていく。

(4)らーめんスタンプラリー

一般枠

新規

【実施団体名】 公益財団法人白河観光物産協会(白河市)

事業の目的

白河地方を代表する食である「白河らーめん」を観光資源と捉え、より一層の知名度アップとアフターコロナを見据えリピーターを増やすことによる誘客の増加を図ることにより、観光地を含めた周遊の機会を創出し地域の活性化及び地域振興に繋げる。

事業の内容

事業内容：

○市内に約100店舗あるラーメン店を対象に参加店を募り、誰でも簡単に参加可能で店舗の負担も少ないデジタルスタンプラリーを実施した。
一定数以上の店舗でらーめんを食し、スタンプを獲得した方を対象に抽選でオリジナルらーめん丼や加盟店でのお食事券等を贈呈した。

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	3,260
補助金	-	-	2,137

＜ポスター＞



事業の成果・効果

- 地元はもとより、栃木県や茨城県に加え、遠くは神奈川県や長野県からの参加もあり、白河地方を代表する観光資源である「白河ラーメン」のより一層の知名度アップとリピートによる誘客が図られた。
- 白河地方を訪れるきっかけとなり、ラーメンばかりでなく、地場産品の消費拡大と地域活性化、及び白河ラーメンの知名度アップに寄与したと考えている。

今後の展開等

- 本事業で得たデータをしらかわ観光ステーションに設置しているラーメンデータベースと連携させ、観光情報も含めた情報発信を行い、地域の魅力発信に努めて行く。

(5) 自宅で学べる！ママのためのクリエイティブスクール in しらかわ

一般枠

新規

【実施団体名】 一般社団法人 SFM （白河市）

事業の目的

労働力人口が減少していく中、子育て中の女性が時間等の制約のためにリスキリングやその後の就労ができていない状況を改善するため、DTP（紙媒体等のデザイン）ができる女性を養成する。

事業の内容

事業内容：

- 講座の開催
 - ・自宅で受講できるオンライン形式：R5.8～R6.2 6ヵ月間
 - ・定期的な個別面談及び状況確認
 - ・成果発表の実施：R6.2.22 開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	7,160
補助金	-	-	4,662

<事業説明会>



<受講生>



事業の成果・効果

- 地域の女性7名に対し、リスキリングまたは新たなキャリアステップ・働き方の選択肢を増やす機会・可能性を提供できた。
- 地域全体で考えた場合、地域資源を有効活用した持続可能な地域経済の基盤形成に寄与する第一歩となった。

今後の展開等

- 養成したママデザイナーへの業務振り出しのため、行政・自治体から受託実績を構築するべく、各自治体・民間事業者に、本事業で養成したママデザイナーへの依頼業務を募集する。

(6)
 だるまさんによるだるま市のための”運動会”

一般枠

新規

【実施団体名】
 白河だるま事業協同組合(白河市)

事業の目的

白河だるま市における来場者数の増加及び認知拡大を目的に、だるまの着ぐるみを着た人たちによる楽しい運動会を開催することにより、メディア露出、ひいては白河だるま市自体の集客増を図ることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 運動会の開催
 - ・日時：令和6年2月11日
 - ・内容：だるまの着ぐるみを着た参加者による運動会
- 特設HPの開設
 - ・だるま市及び運動会に関する情報発信

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	3,139
補助金	-	-	2,000

<運動会の集合写真>



<だるま徒競走>



事業の成果・効果

- 参加人数：70名、観覧者を含めると約300名となり、KFBやFCTを始め各種メディアの取材もあり、だるま市の盛り上げに寄与した。
- だるま市と同時開催で、購入意欲（だるまや飲食）だけでなく、子どもも大人も楽しめる運動会という参加型イベントで、集客人数の増加や活性化が図られた。

今後の展開等

- 競技内容の追加や充実、エンターテインメント導入して、幅広い層の人々に楽しんでもらえるイベントを目指し、だるま市の来場者を含め、集客数の増員図っていきたい

(7)町へす(町フェス)・村へす(村フェス)

一般枠

新規

【実施団体名】 矢吹町バンド連合会(矢吹町)

事業の目的

福島県南9市町村のPRをするため音楽と食のイベントを開催する。
観覧者に身近に県南地域を知っていただけるよう、開催地と連携することで地域と音楽を結びつけるイベントとし、【食】や観光PRにつなげることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 泉崎村へす（8／20）
県内アーティストを中心としたステージ、飲食ブースの設置
- 矢吹町へす（9／16）
打上花火とアーティストのコラボステージ、飲食ブースの設置
- 鮫川村へす（10／29）
東日本発となるFMXとアイドルのコラボステージイベント

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	2,550
補助金	-	-	1,440

＜泉崎村へす ステージ＞



＜矢吹町へす 飲食ブース＞



事業の成果・効果

- 入場者が泉崎村で約400人、矢吹町で800人、鮫川村で103人と目標を達成することができた。
- SNSやフリーペーパーを中心に広報活動を行い、ご出演者様やご来場様に沢山SNSへの投稿をしていただき、開催地の名前も広く宣伝できた。

今後の展開等

- 初めてのコラボイベントで、盛況だったので、これを長く続けていく為、イベントの認知度を上げ、協賛を獲得できるようにする。

（８）里山で出来る SDGs発信事業

一般枠

【実施団体名】 しらかわ里山ネット(白河市)

継続 2 年目

事業の目的

森林等が持つ多面的な機能の活用を図るため里山整備を進め、県内外の人々を里山に呼び込むとともに、事業を通して SDGs を学び実行し啓蒙活動に取り組むことで、里山と人との繋がりが地域資源の重要性を感じ、地域間交流や郷土愛の醸成につなげていく。

事業の内容

事業内容：

- 子供たちと共に学ぶ SDGs の開催：7/29 参加人数 親子 10 組 20 人
- 里山スタンプラリーの開催：4/1～11/30 参加者数 726 人
- 里山フォトコンテストの開催：応募者 48 人 応募総数 107 作
展示会及び表彰式 R6/2/23～R6/2/25
- 里山花めぐり広報活動：R6/3/16 新聞広告に掲載

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	1,332	1,287
補助金	-	756	799

＜里山フォトコンテスト応募作品展示会＞



＜ツリークライミング＞



事業の成果・効果

- 「スタンプラリー」の参加者 726 人や「里山歩きガイドBOOK」等発行状況から 3,500 人以上の入り込みが有ったと思われる。
- 森林が持つ多面的機能による健康維持や SDGs に関心を高めたと共に、その入り込み状況から地域振興に寄与したものとされます。

今後の展開等

- 「親子で学ぶ SDGs 事業」のツリークライミングが大変好評であること、又令和 6 年度に計画している「里山花めぐり」バスツアー」の期待度が高まっていることから、なお一層充実を図って参りたいと思っています。

(9) RAKUEN de Marche

一般枠

【実施団体名】 中島村から元気を発信する会（中島村）

継続 2 年目

事業の目的

本村や県南地域の中小企業や個人商店で働く人たちの魅力を伝えるため、新たなホームページの制作、イベントの開催を実施し、来場者とブース出店者がふれあうことにより、若年層の雇用／起業／定住の推進に結び付ける。

事業の内容

事業内容：

- 中島村でマルシェ（RAKUEN de Marche）開催
令和5年7月17日(祝)（株）楽縁 イベント広場
- 「人」と「仕事」を紹介する特設サイトの開設
- イベント出店者取材からの動画作成

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	2,727	2,434
補助金	-	1,310	1,622

＜マルシェ＞



＜マルシェ＞



事業の成果・効果

- SNSでの情報発信をしたことでフォロワーが増え、昨年度より来場者数が増えた。また出店者が趣向凝らしたメニューを出して、イベントが盛り上がり本村の魅力をアピールできた。
- 出店者との直接のふれあいで、人柄や仕事の様子に触れて、地域や企業の魅力を感じてもらえる時間と場所を提供できた。

今後の展開等

- 地域全体で活性化に取り組む意識醸成を図ることを目的としたイベントを開催していく。イベントやSNSを通し地域の魅力を発信して、地元での就職や起業をしたい若年層にアピールしていく。

(10)白河フードフェス 2023

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 白河フードフェス実行委員会(白河市)

事業の目的

白河市の多くの飲食店が、新型コロナウイルス感染症の影響で利用と売り上げが大幅に落ち込んでいる。そこで、飲食店の利用を促進させるために、店舗への周遊イベントを実施することで、地域経済の活性化と交流人口創出を図る。

事業の内容

事業内容：

- 白河フードフェス 2023 の開催
 - ・日程 3 カ月間(10 月～12 月)
 - ・内容：管内の飲食店を対象とした、抽選で賞品が当たる電子形式のスタンプラリーを実施する。

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	3,000 (2,970)	2,981	2,983
補助金	1,979	1,888	1,789

事業の成果・効果

- スタンプラリーの参加店は前年度から減ったものの、参加者は増加し、コロナ過でダメージを受けた飲食店のサポートは出来た。
- スタンプラリー利用者は白河市内在住だけではなく、東京、神奈川などの関東圏、郡山市や福島市など県内外から飲食に来ていたので、飲食以外で観光地や温泉などのレジャーも楽しんでいったことを想像すると、地域経済に貢献できた。

＜チラシ＞



今後の展開等

- 事業で得た参加者の傾向やラリーの仕組みなどの知見を、本事業実行委員会メンバーである白河商工会議所や白河観光物産協会が主体となって実施する地域おこしのためのスタンプラリーに活かしていきます。

(11)福島県南で「むすぶ」

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 むすぶ(白河市)

事業の目的

地域の人々と連携しさまざまなヒト・モノ・コトを「むすぶ」ことで、豊富な地域資源を新たな視点で再活用するとともに、地域の多様な交流を生み出し、県南地方の地域活性化を図ることを目的とする。

事業の内容

- 事業内容：
- イベント「Higashi Coffee & Cookies with Crafts 2023（HCSC2023）」を10／14（土）きつねうち温泉芝生広場にて開催
県南および近隣地域に拠点を構え、地元産原料を使用、社会福祉法人製造などバラエティに富むクッキーを紹介。
 - 「和紙製卒業証書」作成ワークショップの開催
小野田小学校にてコウゾの伐採、紙すきと和紙づくりを実施した

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)		439	696	472
補助金		292	446	291

<HCSCの様子>



<和紙作り「チリ選り」の様子>



事業の成果・効果

- イベントでは県南および近隣地域の事業者を中心に選定。誰もが馴染みあるコーヒーやクッキー。その食べ・飲み比べを通して、体験してもらえた。それぞれの店舗でコーヒー、クッキーなどの味わい、楽しみ方が異なることを実際に体感することで、自分なりの「押し店」探しといった楽しみ方を提案できた。
- コウゾの伐採体験を通じて小学生に地域に眠る資源の存在に気づいてもらうことができた。

今後の展開等

- 今後は本活動で得られた経験を元に、コーヒーイベントの磨き込み、新たな展開も含め、県南地域の方々のシビックプライドをかきたてる「仕掛け」を手掛けたい。

(12)若者地元就職促進・マッチング創出事業

一般枠

【実施団体名】 Fukushima県南地元企業説明会実行委員会(白河市)

継続 3 年目

事業の目的

地域の将来を担う若者の地元企業を知る機会と、企業とのマッチングの場を創出し、地元企業への就職促進を図ることを目的とした事業を展開する。

事業の内容

- 事業内容：
- 企業ガイドブックの作成・配布：11月15日 掲載：79社
 - 専用ホームページの作成・公開
 - 8月1日：HP公開（79社）
 - 11月9日：企業紹介・録画配信型動画提供（38社）
 - 集合開催での地元企業説明会の開催：
 - 11月21日 参加企業 79社、参加生徒数 290名

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)		568	2,300	2,519
補助金		356	1,420	1,553

＜地元企業説明会の様子①＞



＜地元企業説明会の様子②＞



事業の成果・効果

- 参加企業も 79 社と大幅に増加し、企業からも高い期待があったと考えている。
今年度から白河旭高校、白河第二高校が参加し、多くの生徒に地元企業を照会できた。
- 企業ガイドブックや専用ホームページにより、学生には各企業の情報を提供することができた。

今後の展開等

- 企業ガイドブックの掲載内容の充実を図り、より学生に各企業の強みや良さを具体的に伝えられる様に工夫していく。

(13)しらかわ地域文化継承事業

一般枠

【実施団体名】 白河まつり振興会(白河市)

継続 3 年目

事業の目的

コロナ感染症対策の緩和により、4年ぶりの白河関祭りの開催となる。伝統が途絶えかけているいま、揃いの衣装、掛け声で関の踊り流し含めて、文化の継承を図るとともに市民へ地元の愛着を育む。フランス姉妹都市の認知度向上を目指して、コンピエーニュ夜市を開催。

事業の内容

事業内容：

- イベントの開催：令和5年8月6日（日）
 - ・白河関の踊り流し ・コンピエーニュ夜市 ・市民納涼花火大会
- 白河関祭り写真コンテストの実施
白河関祭りイベントの実施に併せ、今年度撮影された写真を募集、コンテストを開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	644	1,011	3,313
補助金	304	463	1,320

＜ 白河関の踊り流し演舞の様子 ＞



＜ コンピエーニュ夜市出店の様子 ＞



事業の成果・効果

- 小峰城を望む白河駅前等で白河関祭りを企画し、関の踊り流し、コンピエーニュ夜市、市民納涼花火大会を開催。市民を始め多くの観光客を集客し、どのイベントも多くの来場者で賑わった。
- コンピエーニュ夜市では、地元出店者を中心とするキッチンカー等により、駅前広場の賑わいを創出した。

今後の展開等

- 次年度以降も白河駅前を中心に、伝統文化の継承と地域活性化を図るため、白河関祭りのイベントを盛り上げていく。インターネット等を活用し、時代に沿った形での文化の継承を模索していく。

(14)スポーツの力で地域ブランディング

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 公益社団法人 白河青年会議所事務局(白河市)

事業の目的

地域の資源（自然，食，ラーメン，特産品）を体感し、スポーツを通して諦めない姿勢、挑戦し続ける気持ち、他者を思いやる大切さを学ぶ機会を創出し、既存チームの活動や学校、スポーツ施設等の活性を通して、地域や社会との関係性を深めることで、将来的に地域振興に寄与できる人材育成を図る。

事業の内容

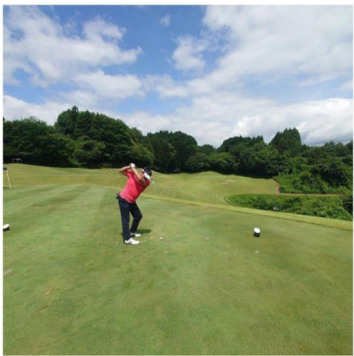
事業内容：

- スポーツツーリズム
豊かな観光資源（自然，食）を生かし、コース途中での特産物の飲食ブース設置や特産物を景品とした「しらかわ JC ゴルフ選手権」の実施：6月24日 参加数：194名
- 体験型事業
雄大な自然環境（ゴルフ場）生かした中で、子ども達のスナッグゴルフ大会を行い、スポーツを通して挑戦や他者を思いやる心を形成する。

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	2,312	1,500	4,999
補助金	1,080	999	2,962

<しらかわ JC ゴルフ選手権の風景 >



< スナッグゴルフ大会の風景 >



事業の成果・効果

- JC ゴルフ選手権参加の方から、開催場所，飲食ブース，アトラクションなどに満足のコメントがあり、地域の魅力発信を行うことができた。
- スナッグゴルフ大会では、普段体験できないゴルフ場という広大な敷地、自然や初対面の人とのふれあいの中、楽しんで行った。この大会の後にゴルフに興味を持ち始めた子どもも出てきた。

今後の展開等

- 事業終了後は、外部実行委員会を設けて、事業継続をしていく。また外部団体とも連携を図り、地域住民との交流，地域振興として飲食店や観光名所を含めた事業を行い、更なる関係人口増加に繋げていく。

(15)リノベーション@本町キタウラ事業

一般枠

【実施団体名】 しらかわ本町未来研究所(白河市)

継続 3 年目

事業の目的

魅力ある地域を創造するため、現状ある公園や空き地を若者感覚で映えるスポットに作り替えることにより、街への関心を持ってもらう。また、これからの地域の活動の担い手となる学生と共に事業を実施することにより、若い世代と地域の大人とのつながりや新しいコミュニティの形成にも繋げていくことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 公園整備；地域の高校生と連携し花壇整備活動の実施
12/10 駅前東公園 パークマルシェ
12/16～2/28 駅前東公園で「モトマチ映え♡イルミネーション」開催
- 街なかマップの作成：学生と共同で「本町・本町北裏町歩きマップ」
- SNSの活用による情報発信

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	699	1,432	878
補助金	460	932	585

＜活動の様子＞



＜マルシェの様子＞



事業の成果・効果

- 高校生が事業主体となって活動を実施することで、地域の方々の協力を申し出た際に前向きな姿勢や意欲をより強く感じる場面が多くありました。こうした事業が地域活性化を促進する一要素となるのではないかと可能性を感じさせる活動となりました。

今後の展開等

- 公園の管理を市と共同で行う計画を進めており、再整備する予定となっています。活動形態を新たに見直し、高校生だけでなく、より多くの地域の方々を巻き込んだ形で事業を進めていきたいと考えています。

(16)しらかわにぎわいプロジェクト

一般枠

【実施団体名】 しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会(白河市)

継続 3 年目

事業の目的

観光客の回遊促進と地域の魅力向上のため、with コロナを前提とした新たな旅行方法・観光メニューの提案として、県南地方各地を対象としたデジタルスタンプラリーを実施する。また、景品として県南地方の6次化商品をはじめ、特産品をプレゼントすることで地場製品の消費拡大に寄与することを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- デジタルスタンプラリーの開催
 - ・対象地域：白河市全域（旧白河市，表郷，大信，東）
 - ・開催期間 令和5年7月～8月、令和5年10月～12月
- フォトコンテストの開催
 - ・スタンプラリーのスタンプ設置場所を対象としたフォトコンテスト開催
 - ・県南9市町村の特産品を中心に、2回で98名に景品発送

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	1,024	1,141	1,126
補助金	670	750	742

＜スタンプラリー参加者に届けた特産品＞



＜フォトコンテスト応募作品＞



事業の成果・効果

- 白河全域の観光名所など全20箇所を対象として、観光客の回遊促進を促し、地域経済の活性化にも貢献しました。
- フォトコンテスト開催で SNS での投稿を促し、フォトコンテストに応募いただくことで、投稿写真を閲覧した人に対して観光名所の PR、また地場産品を景品にすることで、消費拡大につなげました。

今後の展開等

- 今後は、テーマに沿った写真の展示などをマイタウン白河内で行うことで、マイタウン白河を訪れた人々に、白河市の魅力を PR していきたいと考えています。

(17)都市と農村との交流を再構築！ ～アフターコロナ大信いいものの体験事業～

一般枠

【実施団体名】 白河大信地域交流促進協議会(白河市)

新規

事業の目的

一度交流が途絶えてしまった関係性の再構築を目指すべく、大信地域の農業と観光を軸とした交流人口の増加、さらには域内で生産される安心・安全で良質な農林水産物等を原料とする名産品の開発により、復興・再生のキズナをつくり、地域活性化の一助として楽しく活動できる地域を目指すことを目的とする。

事業の内容

- 事業内容：
- 農・自然・文化等の資源を活かした体験コースの開発
 - ・モニターツアー(稲刈り体験・味噌作り体験・大信産新米試食体験)の企画
 - 各種開発コースの情報発信とモニター受入
 - ・開発ツアーをパンフレットやHPへの掲載。ツアー開催：10/7,8
参加 20 人
 - おもてなし料理のレシピ開発

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)		-	-	2,279
補助金		-	-	1,507



事業の成果・効果

- 体験コースの開発は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年度は稲刈り味噌づくり体験ツアーのみとなったが、定通り 20 名の参加が得られパンフレットやHP作成へも繋がられるなど、大信地域の方々の協力もあり、事業を遂行できた。
- おもてなし料理レシピも「初舞台お披露目会」に合う料理として、予定していた5種類以上の9種類のレシピ開発ができた。

今後の展開等

- 中山義秀記念館や権太倉山登山や椎茸狩り体験など、地域資源を活用したモニターツアーを実施していきたい。また、今回開発した料理レシピを地元の食生活改善委員会にお願いして地域住民への周知を図っていく。

(18)SDGsフェア 2023

一般枠

新規

【実施団体名】 S D G s 推進委員会(西郷村)

事業の目的

県南地域の中小企業が集まり、SDGs に特化したイベントを開催する。17 項目すべての目標に触れることができる機会とし、この活動を通して、世界全体の課題について学ぶ機会を持つことに加え、管内企業の PR にも繋げていくことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 情報発信：「まちなび白河」を利用した SDGs 活動の宣伝やイベント出店者との勉強会を 2 回実施
- SDGs フェアの開催：SDGs17 目標を学ぶことのできる 13 出店を行うほか、食や体験のブースでは、スタンプラリーを通して、17 目標の項目すべてを学ぶ機会を提供

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	857
補助金	-	-	524

<集合写真>



<イベントの様子>



事業の成果・効果

- SDGs のイベントでは県内初の開催で、17 項目すべての目標に触れることができる機会になり、この活動を通して世界全体の課題について、学ぶ機会を持って頂くことができました。
- 普段では予約制で利用することが難しい出展者や子育て世帯で遠出しづらい方々に楽しんで頂ける機会となり、公共機関の活動体験もでき、より地域に密着した活動になりました。

今後の展開等

- 出展者には、来年度の出展に向けて様々な挑戦を盛り込んでいただくことを考えています。
- SDGs の 17 項目全てを網羅したイベントをこの先 2 年継続し、その後は項目を絞って深掘りする内容のイベントを計画していきたい。

(19)川谷マルシェ

一般枠

新規

【実施団体名】 川谷マルシェ実行委員会(西郷村)

事業の目的

地域内で生産された農産物、生活雑貨等の販売会や生産物を使ったクラフト製作、農業体験などの体験活動を通じ他地域の方たちとの交流を行うことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

○マルシェの開催：1回／月 計7回)
 5/5 参加 70 名・出店 13, 6/4 参加 50 名・出店 13
 7/9 参加 50 名・出店 11, 8/16 参加 60 名・出店 12
 9/3 参加 60 名・出店 13, 10/8 参加 50 名・出店 12
 11/3 参加 150 名・出店 25
 (参加推定人数 490 名, 出店数 99)

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	995
補助金	-	-	417

<マルシェの様子（5月）>



<マルシェの様子（11月）>



事業の成果・効果

- 事業計画どおりマルシェを5～11月まで定期開催することにより、当初目標を大幅に上回る500人程度の集客につながった。地域のみならず、県外の方も足を止めてくれ、地域の魅力発信にもつながった。
- マルシェの実施により、地域へ人を呼び込み、関係人口の増加と地域内の多世代交流につながった。参加者を通じて、高齢者への見守りのきっかけづくりを行うことができた。

今後の展開等

- 引き続き、地域活性化と高齢者の見守りを行いながら、地域情報を広く発信し、新たな地域作りへとつないでいきたい。
- マルシェについては、地域主体の運営を目指して参加を呼び掛けていく。

(20)にしごう祭り

一般枠

【実施団体名】 にしごう祭り委員会(西郷村)

新規

事業の目的

東日本大震災に伴う風評被害の払拭と、減少した観光客の回復を図るだけでなく、西郷村における課題である人口増加に起因する地域や人のつながりの希薄化や、村内企業の人手不足解消を目的に、特産品の販売や地域の産業体験、企業 PR、文化団体による発表等を行うイベントの開催する。

事業の内容

事業内容： ○にしごう祭りの開催
開催日時： 8/26 9:00～18:00 開催場所：三菱製紙(株)敷地内公園
参加人数：約 10,000 人（延べ人数）
開催内容：各種アトラクション（タイタン・ウォーターパークなど）
イベント（ステージ、会場内）、場内バーズ(飲食・物販・体験・PR)
○SNS を活用した事業者紹介、観光 PR

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)		-	-	5,703
補助金		-	-	3,538

＜ 巨大滑り台「タイタン」 ＞



＜ 合唱クラブの発表＞



事業の成果・効果

- コロナ過で外遊びが出来なかった子ども達が、たくさん参加して楽しんでいた。
- 多くの来場者で賑わっていた中、県外から移住して来た方から、「初めてこの祭りに参加したが、いいイベントなので毎年継続して欲しい」との要望があり、次年度に結び付けるコメントがあった。

今後の展開等

- この祭りきっかけに、西郷村をもっと知ってもらおう次年度は PR に力を入れて、村内外からの参加者及び来場者の誘致を一層図っていきたい。

(21)来らっし飲まっし 白河・西郷

一般枠

新規

【実施団体名】 青空バル実行委員会(西郷村)

事業の目的

県南地域は大企業の工場等があり、交通アクセスも良く人口流入（Uターンや転勤帯同）もある。一方で閉鎖的な農村地帯であり、地元の方と転入者の情報共有がうまく出来ない問題点がある。そこで、転入者の先輩、新規転入者、行政がざっくばらんに意見共有できる場を設け、既存の子育て支援等の活用を促すと共に、地域の文化に親しみを持ってもらうことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 転入女性同士の交流会、意見交換会の開催
 - ・7/11 マイタウン白河 6人
 - ・9/2 西郷村文化センター 6名
- 「青空バル～地域を知る・繋がる・楽しむ～」の開催
 - ・9/2 農産物まるごと西郷館 約2,000人
 - ・県内の酒や食の紹介の他、子育て支援グループ等のブースを設ける。

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	716
補助金	-	-	390

<青空バルの様子①>



<青空バルの様子②>



事業の成果・効果

- 青空バルでの試食、試飲を通じ、地場産品への理解を深めることで地域住民を中心に地産地消を促すことができた。
- 今回初めて地域で活動する子育て支援団体等や転入女性の座談会を開催することにより、住みやすい地域であることをPRすることができた。

今後の展開等

- 子育て支援団体をもっと巻き込んだ活動を展開していきたい。
- 転入女性が利用する大型スーパー等にも案内をかけていき、既転入者が福島の良いところをPRしてくれるようにしていきたい。

(22)ジャスト・ライド 新緑の久慈川沿いを走ろう！2023

一般枠

新規

【実施団体名】 一般社団法人 ニワトコ(棚倉町)

事業の目的

コロナ過で観光客が減少している中、既に存在する棚倉町・埴町・矢祭町・鮫川村の久慈川沿いサイクリングロード、久慈川沿いを走る水郡線の賑わいを活用して観光誘客を図る。県南3町1村の広域観光地をブームのサイクリング（初心者・ファミリー向け）に絞って、国内外のサイクリストにとっての日本の田舎の“隠れた聖地”を目指すことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- サイクリングイベント（ジャスト・ライド紅葉の久慈川沿いを走ろう）の開催
・日時：11月5日 ・場所：久慈川沿いの3町1村の2コース
- インバウンド&サイクリスト誘致プロジェクト
・地域食材を活用したフランス大使館料理長のBBQ 等
- 手土産開発プロジェクト
- 地元小中校生の人材育成「古民家雑学講座」

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	6,086
補助金	-	-	3,975

<サイクリングの様子>



<BBQの様子>



事業の成果・効果

- スピード感あふれるサイクリストが走り抜けた田舎のサイクルロード。地元伝統食と異文化料理のコラボした今までに無い BBQ ランチは盛況で、今後の観光誘致や地域経済活性化のヒントとなった。
- 県内外（地元を含め）約150人のキャンプ場イベントに、小・中・高生の姿が多く見られ、地域振興の第一歩となった。

今後の展開等

- 「古民家雑学講座」が予想外の反響で驚いた。雑学博士育成のための、ユニーク講座もオープンしたい。例えばドローンを使った動画制作など雑学講座を膨らませた活動考えています。

(23)不登校児童への社会性接点構築事業

一般枠

新規

【実施団体名】 東白川子どもの居場所(矢祭町)

事業の目的

子どもの自己肯定感が低く、不登校やひきこもりが問題となっている現状を解決するため、学校・地域・行政とが連携しながら、家や学校以外で自分らしくありのままいれる居場所をつくり、安心・安全で社会と繋がれるようにすることで、自己肯定感を育み、様々なことに取り組む力をつけることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 絵を通してシュタイナー教育に触れる：年4回開催
5/29, 9/11, 1/29, 2/19
- 子ども達企画のお泊まり会：年3回開催 8/7, 11/30, 2/15
- 他団体との交流：8/31 川崎市子ども夢パーク
- 映画「ゆめパのじかん」上映と講演会：11/19 矢祭町山村開発センター
- 子ども達企画(電車でGO)遠足：年4回開催 6/19, 7/24, 9/28, 12/4

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	850
補助金	-	-	268

<お泊まり会>



<シュタイナー水彩絵体験>



事業の成果・効果

- 子どもたちが社会と触れ合い、不安を一つずつ外して行くことができ、自信に繋がっているとともに、父兄の不安も少しずつ減ってきました。
- 居場所の周知により、地域との新しい形での繋がりができた。また、当初計画していた地域（東白川）の子どもばかりでなく、県南他市町村や県外から参加があり、広域活動での必要性もでてきた。

今後の展開等

- 引き続き子ども達の自己肯定感をアップする事業を入れていきながら、引きこもり支援を合わせてやって行く事、社会復帰（学校も含む）を目指す事、それに必要な研修・活動の一つ一つ行う。

(24)ふくしま和紙カフェ ～ワークショップがつなぐ文化と食～

一般枠

新規

【実施団体名】 旅の書会(鮫川村)

事業の目的

鮫川村をはじめ、福島県には複数の和紙の里が存在するが、各地域にはそれぞれに食や祭り、地域に根付いた文化と食があり、それらと融合させたワークショップを実施することで、より広域的に地域の魅力発信が可能となるため、一年を通じて、会津・中通り・浜通りでワークショップを展開し、ふくしまの和紙をテーマにしたカフェを創り上げることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 文化×食をテーマにしたワークショップの開催
 - ・6/11 コウゾ釉薬を使用した陶芸教室
 - ・8/11 コウゾ染・藍染教室
- 伝統行事見学と花き収穫体験
 - ・10/22 菊収穫と上川崎和紙を使ったフラワーアレンジメント教室（コウゾ釉薬の陶器でのランチ会）
- 伝統和紙の紙漉き体験：海老根和紙の紙漉き体験と地元食材のランチ会

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	1,046
補助金	-	-	750

事業の成果・効果

- 福島県の和紙をはじめとする産品や文化風習等の魅力を理解する契機として、教室やワークショップを開催した。参加者の満足度やリピーターの高さから地域間交流や観光招致へつながる一定の効果があったと考える。
- 陶芸、染色、フラワーアレンジメント、紙漉き体験など、子どもから大人まで参加して、伝統文化や食など地元の魅力発掘ができた。

<海老根和紙の里で開催した「ふくしま和紙カフェ」>



<上川崎和紙の里で和紙の花器にアレンジメント>



今後の展開等

- 伝統文化と食をつなげることで、多世代が楽しむことができると実感しました。今後は、多国籍の人々と共有すべく、インバウンドを見据えた取り組みを実施したいと考えています。

（25）ジュニアゴルフ育成による大信地域活性化事業

一般枠

【実施団体名】 大信をゴルフで元気にする会(白河市)

継続 2 年目

事業の目的

過疎地域に指定されている大信地域において人口減少に歯止めをかけるため、地元や他地域の小学生を対象にゴルフ合宿や大会を開催することで、地元の財産を再確認し、関係人口からの定住促進、人口流出の抑制につなげていくことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- プロゴルファーによるゴルフレッスン
： 6/18～11/12・全 12 回・参加数 47 人
- スナックゴルフ全国大会予選会：6/17・参加数 4 人
- スナックゴルフ体験
： 10/22 参加 11 人、11/26 参加 10 人、12/3 参加 17 人
1/28 参加 15 人、2/25 参加 19 人 計 72 人

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	802	789
補助金	-	520	517

<プロによるゴルフ指導>



<スナックゴルフ体験>



事業の成果・効果

- 多くの子どもたちが参加して開催することができ、地域に子供ゴルフ事業が定着しているように思われた。
- さらに、地域外の子供が大信地域でゴルフ等することで、「大信」の特性が出てきたように思われる事業となった。

今後の展開等

- 人口減少により地区 2 小学校が、閉校になっていることから、廃校を使用して本事業を展開したい。廃校跡地を利用することで、地域之力となり、子供たちが地域の学校に対する考え方に変化が出ることを期待する。

(26)農産物産館まると西郷館を核とした賑わい元気を創出する拠点づくり振興事業

一般枠

【実施団体名】 (仮称)道の駅にしごう出荷者等準備推進委員会(西郷村)

継続 2 年目

事業の目的

農業等産業従事者の高齢化や後継者不足が進むなか、村の産業を荒廃させないため、農産物産館まると西郷館を中心にイベントを開催するほか、シンポジウムや勉強会を実施し、担い手の育成や所得向上を図ることを目的とする。

事業の内容

- 事業内容：
- フットパス関連推進事業
 - ・開催：5/27 参加：10 人(東京にしごう会会員)
 - にしごう軽トラ市（青空バル 共同開催）
 - ・開催：9/2 会場：まると西郷館 来場者：約 2,000 人
 - にしごうまると春祭り
 - ・開催：3/23 会場：まると西郷館 来場者：約 1,000 人

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
	事業費 (補助対象)	-	3,715	3,988
	補助金	-	2,472	2,658

<フットパス>



<軽トラ市>



事業の成果・効果

- 各委員が連携し事業を推進した結果、農産物産館まると西郷館来館者数は、令和4年度は181,935人であったが、今年度においては182,992人と1,057人増となり目標を達成した。
- 農産物産館まると西郷館への出荷者が令和4年度より5人増加し328人、また出荷者の年間出荷額も2億3百万円弱となっており、村の賑わい元気を創出する産業振興の拠点として大きな貢献をしている。

今後の展開等

- 地域全体で活性化に取り組む意識醸成を図ることを目的としたイベント（フットパス、軽トラ市、春まつり）を開催していく。
- 直売所へ新たな利用者が来ていただけるよう情報発信や内容の見直しを進めていきたい。

(27)まちの事業者魅力発信事業

一般枠

【実施団体名】 たなぐら商工業魅力発信実行委員会(棚倉町)

継続 2 年目

事業の目的

人口減少や少子高齢化で雇用の確保が困難となっている現状を打破するため、町の魅力ある企業を「発信する・知ってもらう・体験してもらう・触れてもらう」機会を創出することで、地元企業の発展による移住者の確保や雇用の確保、継続的な地域の活性化につなげていくことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- たなぐら sakura マルシェ
 - ・開催日：4/15
 - ・開催場所：棚倉城跡
 - ・出店数：28 社（町内事業者）
 - ・来場数：1,846 名
- 事業者 PR 動画制作
 - ・撮影事業所：3 社
 - ・撮影日：6/5,6/12,6/19
 - ・撮影：修明高校商業科生徒

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	5,776	5,429
補助金	-	3,800	3,574

<マルシェ>



<動画制作>



事業の成果・効果

- 棚倉町の製造・建設など普段触れることのない事業者や棚倉町の飲食店を知ってもらい、触れてもらう機会の創出となり、自社 PR の場の提供に繋がった。
- 情報発信が難しい中小企業の自社 PR 動画を高校生目線で製作することで、事業者の成り手に興味を持ってもらえる動画とすることが出来ました。

今後の展開等

- マルシェ出店が難しい製造業等を知ってもらえる特設ブースなどを設け、広く事業所を知ってもらえるようにしたい。
- 動画制作は次年度も修明高校と連携し事業を実施、事業所 PR 動画制作も行っていきたい。動画をより見てもらえる機会を創出していく取り組みも行っていきたい。

（28）横浜 Heat 矢祭～つなぐ・つながる・つながろう～

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 横浜 Heat 矢祭プロジェクト実行委員会(矢祭町)

事業の目的

今まで矢祭町と横浜市で続けてきた交流を起点に、単発の交流やイベントではない継続的な人と地域のつながりを作るため、定期的な産直市の開催や矢祭町での体験型事業を実施し、地域住民とのふれあいにより交流人口の拡大や地域産業の活性につなげることを目的とする。

事業の内容

- 事業内容：
- マルシェ出店：横浜(根岸駅前)で毎土曜開催「モンマルシェ」に矢祭ブースを設置・地元産品(お米,羊羹,農産物加工品等)を、町 PR しながら対面販売した。
 - 人的交流事業：・JOB キャンプ：5・7・9・11・06/3月 6回開催（参加 78 名）
・不登校ひきこもり支援応援キャラバン（相談会）：開催 10/7
参加：県南及び交流会員の当該児童及びその両親（参加 約 90 名）
 - 矢祭町のPR：作成した動画やリーフレットを SNS やイベント等で活用

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	5,688	1,869	
補助金	-	3,792	1,141	

＜JOB キャンプ＞



＜相談会＞



事業の成果・効果

- 矢祭町での農業体験に参加した若者たちが、生産者につながったことで農業への興味関心が持て、横浜での物産販売も積極的に行えた。また矢祭の生産者にも横浜での定期的な販路は魅力となり、今後も商品数拡大を検討している。

今後の展開等

- 2年交流を続けて、横浜での事業PRも出来つつあり、定期的マルシェの販売商品規模を拡大していく。
- 引きこもり等の支援相談会を通して、福島の実地支援団体と横浜の団体とのネットワークができたので、K2(横浜の団体)の資源をいかした活動を整えていく。

(29)矢祭町の「和ハーブ」の認知活動とブランド化による地域活性化活動

一般枠

【実施団体名】 矢祭和ハーブ部会(矢祭町)

継続 2 年目

事業の目的

高齢化する農山村における新たな雇用の創出や地域資源を活用した産業振興を図るため、矢祭町に多く自生している「和ハーブ」に焦点を当て、認知活動やブランド化を実施することを目的とする。

事業の内容

- 事業内容：
- 和ハーブティー製造法勉強会の開催：
 - ・協会から講師派遣を依頼し、部会会員を対象に勉強会を実施した。
 - 和ハーブティーの開発：
 - ・町内収穫の8種の和ハーブをブレンドし、4種の和ハーブティーレシピを開発した。
 - 和ハーブティーブックの刊行：矢祭和ハーブティーブックを作成し町内施設で配布した。
 - フェイスブックによる啓蒙活動：内容の充実を図り、ブランドの浸透を図った。

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)		-	1,974	1,537
補助金		-	1,315	1,024

＜矢祭和ハーブティーブック＞



＜矢祭和ハーブティー4品種＞



事業の成果・効果

- 和ハーブに関する矢祭町へのツアーが数回開催され、「矢祭和ハーブ」の認知度が高まった。
- 和ハーブ協会主催の和ハーブ講習会が町内で開催され、近隣地域住民の和ハーブへの関心が高まった。
- 乾燥ハーブの品質が良く、協会からそれぞれを素材として販売して欲しいとの依頼があり、全国の協会員にネットショップ等で販売してもらうようになった。

今後の展開等

- 2年間で「矢祭和ハーブ」ブランドの創出と啓蒙活動、6次産業化に向けた商品開発等を行ってきた。今後は収益化を目指し、首都圏でのPR販売を行うと同時に、その様子をFacebook等のSNSで発信することで「矢祭和ハーブ」ブランドのさらなる浸透を図る。

(30) 埴町観光協会オンライン魅力発信事業

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 一般社団法人 埴町観光協会(埴町)

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響による社会変容に対応するため、「埴町観光協会公式オンラインショップ」を開設し、埴町と町産品をインターネット上で広くPRする。商品等のやりとりを通じて関係人口の増加を図るほか、SNSを活用し、オンラインショップや町の観光情報を発信し、観光誘客を行うことを目的とする。

事業の内容

- 事業内容：
- 埴町観光協会公式オンラインショップの開設運営：
 - ・商品ラインナップを 33 品種に増加。商品包装用のメール便ケース作成
 - SNSを活用したPR：
 - ・発信力強化のため「QRコード掲載ノベルティの配布」、「各種媒体でのSNSアカウント情報の掲載」、「Xキャンペーン実施」などに取り組み、4種のSNSフォロワー数(4～12月)が、前年同期比：586人増

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	1,021 (986)	965	
補助金	-	656	640	

<「ダリア染め」特集記事の広告>



<観光スポットをドローン撮影した動画>



事業の成果・効果

- オンラインショップと各種SNSを通じて「埴町」と「埴町産品」を効果的にPRすることができた。特に今年度は「ダリア染め」に絞って広告し、埴町が長年にわたりPRしてきた「ダリア」を全国にインターネットを通じて発信することができた。
- WEBショップには既にオンラインショップをもつ会社・商店さんも賛同いただき、「商品紹介」という形でリンクを貼ってアクセス（売上）向上の一助を担った。

今後の展開等

- 売上向上のために Amazon や楽天ショップでのショップ開店をします。既存のショップページは、埴町産品を効果的にPRする場としての側面を磨き上げ、商品を多く取り扱い、地域の消費向上の一助を担います。

(31)魅力発見！はなわ選べる体験型宿泊ツアー

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 埴町観光誘客活性化実行委員会(埴町)

事業の目的

関東圏・県内の他地域からの集客強化を図り、サイクリングや町の特産品であるダリアなどの地域資源を活用したツアーを実施し、埴町の良さを知ってもらうことで、観光の活性化だけでなく、交流人口や関係人口の拡大を図ることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 体験型ツアーの開催（参加人数：計80人）
 - ・はなわを楽しむ宿泊体験ツアー：9/2, 9/30,10/7 各20人
 - ・はなわ de ゆっくり満喫の旅(サイクリング宿泊ツアー) 20人

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	5,361 (4,919)	5,000
補助金	-	3,279	2,500

＜矢塚分校でのダリア染め体験＞



＜サイクリング宿泊ツアー＞



事業の成果・効果

- 目標どおりのツアー参加者を集客することができ、参加者へ埴町の良さを知ってもらい、観光の活性化を図るとともに、交流人口や関係人口の拡大の機会を獲得することができた。
- 参加者からは個人的にもう一度来たい、来年もツアーに参加してもっと深く知りたいなどの声が多くあり、町の観光経済効果向上につながったと考える。

今後の展開等

- 県内外から集客強化を図り、サイクリングやダリアなど地域資源を活用したツアーを行い、ツアーの幅を埴町だけでなく、東白川郡に広め、インバウンド観光客も誘致出来るまでになるよう、行いたいと思っている。

(32)「学習障害の子どもたちの野原君キャンプ」人にやさしい村づくり事業

一般枠

【実施団体名】 あぶくまエヌエスネット(鮫川村)

継続 2 年目

事業の目的

鮫川村の豊かな自然や農村景観の良い環境を活かし、学習障害のハンディを抱える子どもたちが共同生活及び体験学習のできるキャンプを実施することで、参加者の自立的な成長を促すだけでなく、交流の輪を広げていくことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 共同宿泊プログラムの実施
 - ・引きこもり気味の子ども達へのふるさと体験サマーキャンプ
実施：8/10～8/12 2泊3日 参加者：10名（内スタッフ2名）
 - ・「学習障害の子どもたちの野原君キャンプ」
実施：9/16～9/18 2泊3日 参加者：21名（内スタッフ5名）

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	564	916
補助金	-	410	476

＜ふるさと体験サマーキャンプ＞



＜野原くんキャンプの様子＞



事業の成果・効果

- 過疎地だからこそ自然や農村景観の良い環境下で、学習障害や引きこもり気味のハンディを抱える子供たちの2泊3日共同生活実施は、参加する一人一人が安堵できる笑顔を確認できた。
- 参加した子ども達の心の拠り所となっているようだ。自然豊かな本村で、「支え合う・寄り添う・励まし合う」という活動で、地域間交流による関係人口の拡大にも寄与している。

今後の展開等

- 過疎地を元気づける事業として、今後も活発に展開したい。過疎地だからこそやれることがある！その可能性があることを証明していきたい。

(33)文学による人づくりまちづくり事業

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 中山義秀顕彰会(白河市)

事業の目的

地域住民の文学への関心を高め、創作活動を活発させるとともに、子どもから大人までの教養・文化の向上と文学による交流人口の創出を図るため、文学を切り口とした人づくり・まちづくり事業を展開することを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 漫画本（最後の文士 中山義秀）作成：令和6年3月刊行
- 絵本原画展（半沢 政人）の開催：4/23～5/28 来館者数 158 人
- 萩原朔太郎と大谷忠一郎展の開催：6/4～7/9 来館者数 348 人
- 文学講演会（作家 池永 陽）の開催：9/3 聴講者数 80 人
- 文学ツアーの開催：10/22 参加者数 24 人
- 剣豪小説展の開催：1/27～4/7 来館者数 23 人

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	1,830	2,164 (2,116)	2,220
補助金	1,220	1,361	1,363

<文学講演会>



<萩原朔太郎と大谷忠吉展「ギャラリートーク」>



事業の成果・効果

- サポート事業により、文学の散歩道整備事業をはじめ、DVD、復刻本、漫画本作成など顕彰会として初めての事業を実施したことから、作家中山義秀を通して文学への関心が高まるとともに、地域の文化芸術の振興に寄与したものと考えている

今後の展開等

- 本事業により作成した復刻本、中山義秀の生涯のDVD、漫画本等を活用し、中山義秀の周知を図るとともに、文学館の来館者増につながる企画展の開催をしていきたい。

(34)子育て世代の働き方改革スタートアップ交流事業

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 特定非営利活動法人 わくわく(西郷村)

事業の目的

「子育てしながらの働き方」をテーマとして、年間を通して各種事業を展開することで、子育て世代が悩みを共有しながらこれからの働き方を身につけられる場所づくりを行うことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 手作りワークショップ（「ハンドメイドをお仕事に」）講演会の開催
 - ・会場：マイタウン白河 開講日：6/25,8/27,12/15 受講者数：25 人
- マルシェでの販売実体験
 - ・マルシェドプチボナール：開催日・会場 8/5・吉田技研，来場者：約 100 人
 - ・ワクワク フェスタ：開催日・会場 10/15 高山コミュニティセンター来場者：約 500 人

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	1,220	2,016	1,853
補助金	810	1,305	1,221

＜マルシェの参加者＞



＜マルシェの様子＞



事業の成果・効果

- 子育て世代で家事や子育てと仕事を両立したい方に積極的に参加して頂き、的確な支援を行う事が出来た。
- 感染症対策を引き続き行いながらマルシェイベントを2回開催し、初回は自分達がやりたいことだけを行い、2回目は企画から開催まで出展者（ママ達）が実施し、初回で満足した点と何が足りないのかを話し合うことで、成功を収めることが出来た。

今後の展開等

- マルシェの計画～実施まで行ったが、今後も独り立ちしたお母さんたちの相談やサポートを続け、いずれまたみんなで集まってマルシェの開催をしていければと思っている。

(35)インバウンド再スタート事業

市町村枠

新規

【実施団体名】 ふくしま県南観光推進協議会(県南 9 市町村)

事業の目的

令和 4 年 10 月より海外からの個人旅行の受入が解禁になった現在、積極的なインバウンド受入を行うため、旅行商品の造成を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 「大台南国際トラベルフェア 2023」への出展
- 「しらかわ台湾夜市 in 楽蔵」の開催
- 台湾の指人形劇団による公演の開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	4,501
補助金	-	-	3,599

＜しらかわ台湾夜市 i n 楽蔵＞



＜台湾の指人形劇団によるワークショップ＞



事業の成果・効果

- 「しらかわ台湾夜市 i n 楽蔵」は 2 日間で合計 5,000 人の来場者を集客し、台湾の食文化に触れる機会を創出できた。
- 大台南国際トラベルフェアでは、4 日間で延べ 12,000 人に県南地域を紹介し、来場者から「福島県にこのような素敵な自然景観があるのであれば、東北旅行の中の 1 訪問先として福島県を行程に入れることにしたい」などの声をいただいた。また、福島空港を活用した東北ツアーを P R したところ、団体客を申込に結び付けるなど、実際に誘客の P R 効果を実感することができた。

今後の展開等

- 「しらかわ台湾夜市 i n 楽蔵」を県南地域を代表するイベントとして継続開催するとともに、台湾での旅行博に出展しインバウンド増加に向けて誘客促進や本地域の知名度向上を図る。

(36)持続可能な地域づくり推進事業

市町村枠

継続2年目

事業の目的

持続的な地域づくりを行うために、農業と防災の観点からアプローチを行う。農業については地域と大学が連携し持続可能な農産物づくりのための施策を実施し、防災については地域の住民の防災意識を高める取組を行うことで安全な地域づくりをめざす。

事業の内容

事業内容：

- 持続可能な農産物づくりのための産品開発
 - ・スマート農業の推進のための村内栽培ほ場の調査・研究の取り組み
 - ・地域特産物の外部的評価及び6次化商品の考案 等
- 地域の担い手確保のための施策
 - ・移住定住者向けのポータルサイトの構築、移住関連イベントへの参加
- 安心安全な生活づくりのための防災意識の啓発
 - ・戸別訪問及びチラシ配布による防災意識の確認・啓発活動 等

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	9,020	12,728
補助金	-	6,763	9,077

＜地元産大豆を使用した豆乳甘酒・豆乳プリン＞



＜移住定住者向けのポータルサイト「まあ、来なよ」＞



事業の成果・効果

- スマート農業のモデル化により、持続可能な農産物づくりの取り組み推進が図られた。また、店舗分析や地域産品の見直しから、6次化商品の開発により、地域農業の活性化が図られた。
- ポータルサイトの構築や移住関連イベントへの参加により移住希望者へ情報を届けることで、担い手の確保に繋がられた。
- 地域防災情報等の配信により防災意識を向上し、安心安全な生活づくりに繋がられた。

今後の展開等

- 産品開発に関しては、食に関心のある様々な世代へ情報発信をし、PR活動を強化する。
- 全国規模の移住フェアへの参加を増やすと共に、移住ポータルサイトの掲載情報の充実とSNSを活用した情報発信の強化を図る。

(37) 棚倉町魅力向上事業

市町村枠

継続2年目

【実施団体名】 棚倉町(棚倉町)

事業の目的

新型コロナウイルスの影響により減少した観光誘客の回復を図るため、棚倉町の観光力をさらに磨き上げ、魅力や情報を発信することで、交流人口や関係人口の増加につなげるとともに、地域産業の持っている魅力を県内外に示し、さらなる地域活性化を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 町内周遊スタンプラリー事業
- 「たなぐら子どもフェスタ」の開催
 - ・町内外の子どもをターゲットに、ステージイベントや体験ブース、飲食ブース、観光物産PRコーナーを設けて実施
- 棚倉町内撮影事業/メディアを活用した情報発信事業
 - ・町内の伝統行事やリニューアルオープンしたキャンプ場をPRするため、写真や動画を撮影し、各種メディアを利用して県内外に情報発信を実施

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	7,664	8,231
補助金	-	5,748	6,172

＜町内周遊スタンプラリー＞



＜たなぐら子どもフェスタ＞



事業の成果・効果

- 各種事業の開催により町内外の多くの方々に本町を訪れてもらうことができ、また、町内を周遊することで、観光資源や事業所等を訪れことで交流人口等の増加を図ることが出来た。
- 実施したイベントに多くの方々が参加したことで、参加者同士の交流や観光物産PRを図ることができた。

今後の展開等

- 令和6年度は、棚倉城築城400年記念のイベントが行われることから、関連事業として連携しながら相乗効果が出るよう取り組んでいく。

(38)自転車のある風景ーサイクリストと歩行者が共生する町はなわー

市町村枠

継続2年目

【実施団体名】 埴町(埴町)

事業の目的

町外、県外からサイクリストが集まりつつあるなか、サイクリスト受入体制をつくるために地域住民が自転車に対する理解を深化させ、かつ地域住民が主体的にサイクリングイベントに参画する事業を行う。

事業の内容

- 事業内容：
- 元プロロードレーサーによるサイクルスクールの開催
 - 小学生向け自転車教室の開催
 - プロチームの合宿誘致
 - ポタリングはなわ 2023 の開催
 - 水郡線サイクルトレイン利用啓発に向けた調査
 - 自転車通勤推進企業プロジェクト等への参加

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	5,101	5,100
補助金	-	3,825	3,819

＜自転車プロチームの合宿の様子＞



＜小学生向け自転車教室の様子＞



事業の成果・効果

- 小学生向けの自転車教室を開催し、自転車文化の定着と日常生活で使用する自転車運転マナー及び安全運転の啓発を図りました。
- ポタリングはなわでは、認定コース『三角形の道』を走行しながら、紅葉の田園風景と郷土料理に舌鼓をうち、埴町のサイクリング環境をPRできました。
- 自転車通勤推進企業プロジェクト等、地域に根差したサイクルツーリズムをPRできた。

今後の展開等

- 過疎地域の諸課題である人口減少や地域経済活性化に寄与できるような自転車を活用した取り組みを行いつつ、サイクリストが来町しやすい環境を整えたい。

(39)定住自立圏
 ご縁から移住へプロジェクト

市町村枠

継続2年目

【実施団体名】
 「ふれあいの場」創出事業実行委員会(県南9市町村)

事業の目的

人口流出により県内の人口減少が問題となる中、県外に転出した女性や県外女性をターゲットとし、県南地域の魅力を発信する。
 結婚という観点から県内への移住を促進する。

事業の内容

- 事業内容：
- 独身男性/女性を対象とした、県外から人を呼び込むためのイベント開催
 - ・リアル交流イベント 3回
 - 婚活者向けセミナーの開催
 - ・男性向けファッションセミナー 1回
 - ・女性向けパーソナルカラー/骨格診断 1回
 - 「世話やき人」セミナーの開催

総事業費：	(千円)	R3	R4	R5
	事業費 (補助対象)	-	5,237	5,706
	補助金	-	3,807	4,060

<リアル交流イベントの様子>



<婚活者向けセミナーの様子>



事業の成果・効果

- コロナが収束したことで参加希望者が増え、秋のイベントでは7組のカップルが成立した。
- セミナー参加者の方が、教わった内容を活かして、次のイベントの際にマッチングすることができた。
- 県外からの参加者は少なかったが、参加者に県南の魅力をご紹介できた。

今後の展開等

- 県外の方へのイベント情報を届けるために、いろいろな周知方法を試したい。
- イベント自体を、魅力あるもの、「遠くからでも参加したい!」と思ってもらえるイベントを企画したい。

(40)みんなでつくる奥久慈街道ブランド魅力アップ・プロジェクト

市町村枠

継続2年目

【実施団体名】 東白川サイクリング推進会議(東白川郡)

事業の目的

「奥久慈街道」というブランドが対外的に認知されるようになり、交流人口・関係人口が創出されつつある。そのような状況で継続的な自転車活用による地域振興を行う為に地域住民の理解を深め、地域住民主体の活動ヘシフトさせる施策を実施する。

事業の内容

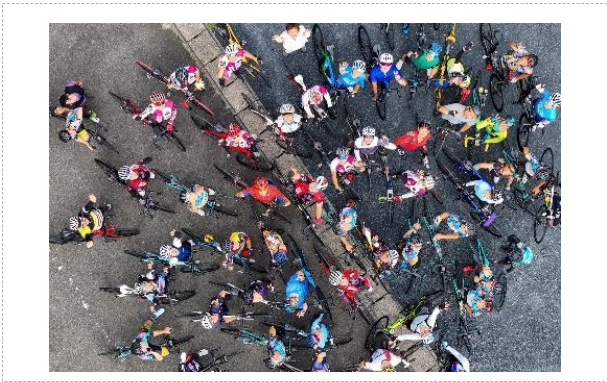
事業内容：

- 奥久慈街道を1周するサイクリングイベントの開催
- 水郡線を活用したイベントの開催
 - ・駅からサイクリング in 奥久慈街道 2023
 - ・水郡線で行こう久慈川サイクリング
- インフルエンサーによる SNS 上でのプロモーション/地域活性化セミナーの開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	10,028	10,017
補助金	-	8,000	8,000

＜奥久慈街道サイクリング＞



＜水郡線で行こう久慈川サイクリング＞



事業の成果・効果

- 各種サイクリングイベントの参加者は約 280 名となり、県内外から多くのサイクリストが東白川郡に訪れた。
- R5 年 4 月に水郡線サイクルトレインの乗降可能駅が拡大したことにより、サイクルトレインを活用したプロモーションが展開できた。

今後の展開等

- 奥久慈街道でしか味わえない地域性や地形を生かしたサイクリングを確立し、じっくり右肩上がりとなる自転車を活用した地域振興を実現していく。

(41)しらかわ産業活性化・復興支援事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】 白河市(白河市)

事業の目的

コロナ禍において首都圏から地方への流れが加速している中で、雇用の受け皿の創出や販路拡大等の事業の支援を戦略的に展開し、UIJ ターンや移住・二地域居住をあらゆる角度から総合的に推し進める。

事業の内容

事業内容：

- UIJ ターン就活促進事業・・・就職活動のための交通費補助制度のPR チラシを刷新し、県内外の大学や専門学校へ配布
- 創業者支援事業・・・創業に必要となる知識を習得するための「創業塾」を開催
- 農産物ブランド白河しろもの事業・・・認知度向上や消費促進に向け、市民参加型の投票イベントやテレビ番組等の制作によるPRの実施
- 農業経営アカデミー事業・・・農業経営についての講義を開催
- 空き家対策事業・・・空き家等対策に関する意識啓発チラシの配付やセミナーを開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	12,757	12,737	12,464
補助金	9,155	9,142	8,786

くらしイベント（Canva 実践セミナー）>



<「白金認証投票イベント」の様子>



事業の成果・効果

- 「創業塾」をはじめとした創業支援により多くの人が開業し、中心市街地の活性化等に貢献した。
- 「農産物ブランド白河しろもの」事業では、市民参加型の事業としたことで、市内の農畜産物とその加工品を知る機会を創出し、販売促進に寄与することができた。
- 空き家対策事業では、空き家等が住居や事業所として活用されたことにより、生活環境の保全や地域の活性化に寄与することができた。

今後の展開等

- 首都圏からの人材確保により、企業の人手不足解消に努め、更なる創業を推進する。
- 白金認証となった食品をトップランナーとして、各商品の磨き上げやPRに繋げ、ブランドづくりを一層推進していく。

(42)美しい村づくりステージアップ事業

市町村枠

継続3年目

事業の目的

里山としての景観維持と魅力を発信するため、村内の美しいもの（景観、美化意識、共助、おいしいもの、星空そして人）を村民が認識し、維持、PRできる体制（人）を構築し、幸福度の高い村づくりを図り、地域資源を活かした人材育成と観光振興・復興につなげていく。

事業の内容

事業内容：

- 村の魅力発掘教室・・・村と繋がりのある外部講師から美しい里山景観と星空を撮影・編集するタイムラプス教室を開催
- 四季の風景づくり事業・・・シルバー人材の力で地域の景観整備活動を行う
- 村の美景撮影教室・・・地域の風景を素材とした写真教室を開催
- 里山景観担い手育成事業・・・里山景観の維持を目的にチェーンソーの技術習得と安全衛生講習会を実施
- 人材育成事業・・・未来の村の担い手を育成するためのセミナーや講座等を開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	9,352	11,526	10,586
補助金	7,481	9,219	8,468

<村の魅力発掘教室>



<人材育成事業>



事業の成果・効果

- 首都圏住民を対象としたツアーを開催し、魅力の一つでもある食と農村体験を通し、魅力を発信し、村の良さをアピールする機会が図れ、地域資源を活かした景観づくりと観光、さらには新たな魅力づくりで、地域の復興を図ることができた。
- 村の人材づくり講座においては、村民が主体となって村や自分自身の将来を考えるきっかけを作ることができた。

今後の展開等

- 里山景観の維持につながる取組みを行いながら関係人口の増加を図りたい。
- 村の人材づくり講座では、担い手自身が楽しみながら持続可能な形で、地域力の一助になることをより多くの村民に気づいてもらえるようにしたい。

(43)にしこう健幸づくり事業

市町村枠(旧健康枠)

継続3年目

【実施団体名】 西郷村(西郷村)

事業の目的

普段運動する習慣がない高齢者に対して、運動を始める契機や健康に対する意識づけをし、生活習慣の改善や介護予防・健康寿命の延伸に繋げ、高齢者が自助と互助で長く活躍できる地域社会の推進を図る。また、世代を超えた交流を図り、地域の催しへの参加促進にもつなげ、健康づくりによる地域の発展を推進する。

事業の内容

事業内容：

- シニア健康教室
村内で自主的に開催されている運動教室へ、健康運動指導士等の講師派遣を実施。
- 介護予防サポーター養成講座
村内で自主的に開催されている運動教室の運営補助を行うボランティアの育成講座
- お元気運動教室／いきいき教室
65歳以上の村民を対象に、参加者の健康状態に応じて筋力アップの運動等の実施。

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	5,932	6,036	6,121
補助金	4,381	4,492	4,551

<いきいき教室参加者>



<シニア健康教室>



事業の成果・効果

- 普段運動する習慣がない高齢者等に対して、運動を始める契機づくりや健康に対する意識づけをし、生活習慣の改善や、介護予防・健康寿命の延伸に繋げ、高齢者が自助と互助の意識を持ち、長く活躍できる地域社会の推進を図れた。
- 保健師等の専門職を積極的に派遣したことにより、参加者が自ら健康に関する相談等を投げかけてくれるようになった。

今後の展開等

- 介護予防サポーターの活用を図りながら、地域の自主活動設置個所数の増加を図り、それによって、誰もが平等に安心して参加できる環境づくりを目指す。

(44)お年寄り健康・生きがいきづくり推進事業

市町村枠(旧健康枠)

継続 3 年目

【実施団体名】 矢吹町(矢吹町)

事業の目的

地域の豊かな人間関係、お互いに支えあい、助け合う関係を作り出す継続的な地域活動としての交流の場づくりとして、高齢者のいきがいきづくりの発展的取り組みを実施し、元気な地域づくり、仲間づくり、生きがいきづくり、元気づくり、健康づくりにより、心身の健康維持増進を図る。

事業の内容

事業内容：

- ことぶき大学
概ね 50 歳以上の方を対象に受講生を募り（登録者数 224 名）、毎月 1 回本講座、毎月 1～2 回分科部の活動を実施
- ふれあい＊いきいきサロン
町内 20 地区の集会所等で月 1 回サロンの開催、趣味サロンの開催、健康に関する講習会や勉強会を開催

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	6,128	5,853	6,075
補助金	4,484	4,287	4,555

<ことぶき大学「新聞を使ってフレイル予防」>



<いきいきサロン（サロンパス遠足）>



事業の成果・効果

- 貴重な生きがいきづくり・交流の場となり、多くの方々が積極的に参加した。
 - ・ことぶき大学：4,039 人（本講座 1,433 人・分科部 2,606 人）
 - ・いきいきサロン：3,588 人（地域サロン 2,434 人・趣味サロン 1,154 人）
- 新型コロナウイルスの 5 類移行により入部者が増えた。またバスによる研修等を再開することができ、参加者にとっても喜ばれた。

今後の展開等

- 受講者から運動や健康増進に関する講座開催の要望が多いため、ニーズに応じた本講座を開催したい。
- 地域住民同士の交流、子どもから高齢者まで幅広い世代間交流の機会を増やしたい。

（45）東館駅前活性化及び交流人口増加推進事業

過疎・中山間地域活性化枠

【実施団体名】 特定非営利活動法人 まち・ひと・みらい(矢祭町)

新 規

事業の目的

東館駅前シェアスペースを中心に、特に若い世代を呼び込むイベントや居場所づくりを企画し、コロナ禍で失われてきた若い世代や上の世代の交流をさまざまな角度から活性化させることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- やまつり寺子屋プロジェクト：講演会，地元食材(蒟蒻)試食会 等
・町民を対象に、開催 3 回(11/23,12/17,2/11)。参加数 56 人
- お庭でカフェマーケット：場所 東館駅前 NPO 法人事務所，参加数 約 100 人
・開催 2 回 11/23, 2/11。子育て世代や子供たち同士の交流場所を提供
- 子ども若者の居場所タイム：放課後の子ども・若者の交流場所を提供
・開催 2/17,23 参加数 20 人

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	806
補助金	-	-	644

<やまつり寺子屋プロジェクト>



<お庭でカフェマーケット>



事業の成果・効果

- 当初の計画より、イベント開催が遅れてしまったが、開始後は定期的に実施できて参加者数も確保でき、一定の集客効果あった。
- 駅前ではもとより、町内のもったいない図書館やヒガシダテ待合室、観光地（あゆの吊り橋や矢祭山など）へ立ち寄る人が増えた。

今後の展開等

- のぼりなどを作って道路沿いへアピールしたり、町内への告知を早くして集客を増やしていきたい。安全性を高めるため設備の配置変更や、人的サポートの増員等を検討していく。

(46)もっちゃり(持ち寄り)ば～ばのパラダイス and マルシェ ～地域・世代を超えた交流の場づくり～

過疎・中山間地域活性化枠

新規

【実施団体名】 農村女性高齢者生きがいづくり支援の会(鮫川村)

事業の目的

過疎と高齢化により地域間のつながりが希薄になり、高齢者達の行動範囲も限られている。子供から高齢者までの地域住民世代を超えて楽しく集える場所をつくることによって、地域住民（特に高齢者の）の生きがいづくりを行うことを目的とする。

事業の内容

事業内容：

- 農産物・加工品等の販売
 - ・開催：2回 11/11 来客数 75人
 - 12/9 来客数 58人
- 田舎暮らし体験
 - ・農業体験、収穫した農産物での調理体験、農家民泊 等
 - (問い合わせがあったが、コロナの影響もあり、実施には至らなかった。)

総事業費：

(千円)	R3	R4	R5
事業費 (補助対象)	-	-	1,248
補助金	-	-	932

＜マルシェで振舞った料理＞



＜マルシェの様子＞



事業の成果・効果

- マルシェの開催により、地域住民世代を超えて楽しく集える場所の創出ができた。今後は、定期開催（毎月第2土曜日）を行い、さらに来場者の増加を図る。
- 事業実施により、隣県を含む他地域と地元住民の交流が実現できた。地元住民の地域愛醸成とともに、地域ファンの獲得につなげていく。

今後の展開等

- 次世代へ活動を伝えていけるよう、若者にも興味のあるような工夫をしていきたい。特に、伝統食・行事食の継承や、地域の豊かな自然及び里山環境の価値の再認識などに力を入れたい。